

政治のゆがみを改革し、府民の願い実現へ

北陸新幹線延伸計画よりも
サンダーバードの拡充を

京都仏教会は、北陸新幹線延伸計画は「千年の愚行」として中止を求めています。また、政府も西脇知事も、30年以内に起こる東南海地震など大災害時の代替交通だと言っていますが、いつ大災害が起こるかもしれないのに、完成まで20年～30年かかるのでは代替交通にもならないと批判しました。サンダーバードや在来線の充実を図ることが現実的です。



大型弾薬庫

全国最多の
17棟以上新増設

自衛隊基地強化
京都で進む軍事拠点化
許さないたたかいを

自公政権の大軍拡計画で、京都では米国製長距離巡行ミサイル「トマホーク」の配備や、長距離ミサイル保管用の大型弾薬庫が舞鶴や祝園に17棟以上も新設する計画が進行中です。祝園の弾薬庫から幹線道路を使って前線の舞鶴に長距離ミサイルが運ばれます。「有事には攻撃の標的になる」「輸送中の爆発の危険」など当然の心配に京都府は寄り添う姿勢がありません。

高校通学費の負担軽減を

高校生に通学費負担が重くのしかかっています。京都府には助成制度がありますが、通学費のうち基準額（世帯によって1万～2万1千円）を超える額の2分の1しか支援

を受けられず、年間20万円にもなる通学費を支払う家庭でも支援を受けられない場合があります。他自治体で拡充がすすむ通学費補助を京都府でも前進させましょう。



島田けい子(京都市右京区)

議員団長、危機管理・健康福祉常任委員会、魅力ある地域づくりに関する特別委員会



みつなが敦彦(京都市左京区)

議員団幹事長、農商工労働常任委員会、文化力と価値創造に関する特別委員会



浜田よしゆき(京都市北区)

議員団副団長、文化生活・教育常任委員会、安心・安全な暮らしに関する特別委員会



さこ祐仁(京都市上京区)

農商工労働常任委員会、安心・安全な暮らしに関する特別委員会



成宮まり子(京都市西京区)

文化生活・教育常任委員会、新技術と社会づくりに関する特別委員会



ばばこうへい(京都市伏見区)

政策環境建設常任委員会、子育て環境の充実に関する特別委員会



水谷修(宇治市・久御山町)

政策環境建設常任委員会、魅力ある地域づくりに関する特別委員会



森よしはる(京都市南区)

総務・警察常任委員会、子育て環境の充実に関する特別委員会



田中ふじこ(京都市中京区)

危機管理・健康福祉常任委員会、新技術と社会づくりに関する特別委員会

戦後・被爆

80年



核兵器のない世界実現へ 国際的共通を

日本共産党府会議員団は、「戦後・被爆80周年プロジェクト」を立ち上げ、連続して学習講演会を開催、主要ターミナルの街頭で6・9宣伝署名行動を続けてきました。



被爆者のいのちがけの訴えが、核兵器使用の手を縛り、2017年国連で核兵器禁止条約が採択されました。6月定例会には「核兵器禁止条約に署名・批准を求める意見書」を提案。アメリカによるイランの核施設への攻撃という緊迫した情勢の下で、唯一の被爆国である日本が核兵器禁止条約に参加し、核兵器廃絶の先頭に立つことを求めました。

また「核兵器禁止条約に日本政府が参加することを求める」署名へ府知事も署名するよう迫りました。



世論調査では、7割以上の国民が消費税減税を求めています。消費税を5%にすれば平均勤労者世帯で12万円の減税に。党議員団は、大企業・富裕層への減税・優遇をただすことを柱に恒常的な財源を提案しています。

**消費税は5%に
引き下げて廃止を**

府立高校再編問題

府教育委員会は今年3月「府立高校の再編整備の考え方」について、少子化等を理由に高校統廃合を進める方針を示しました。

しかし、自宅から通える公立高校は、子どもたちの教育保障とともに、多様な世帯が暮らす地域づくりにとっても不可欠です。安易な統廃

合ではなく、少子化の今こそ高校でも少人数学級をすすめ、公立高校を守るべきです。

大阪では、維新府政のもとで定数割れの公立高校の統廃合がすすめられ、14年度から延べ21校が廃止（廃止方針決定含む）されました。こうした道に進んではいけません。

